

防災教育チャレンジプラン最終報告

三宅島の環境保全と防災意識向上のための教育プラン

2008年2月16日

東京都立三宅高等学校

地域安全学会と連携した取り組み

2007年5月25日(金)



2007年6月の緑化プロジェクト



三宅島の火山学習

- 7月18日(水) 三七山コースで昭和15年、37年の噴火跡を見学し、三宅島測候所で地震計の仕組みや雄山の噴火口の様子を見せていただいた。



「三宅島噴火災害から7年」

9月15日(土)日本災害情報学会と共催シンポジウム



9月16日(日)朝日新聞に紹介される

07.09.16

三宅島噴火から7年復興へ検証シンポ

三宅高生「未来」を提案

三宅島の噴火後に行なわれた検証シンポから7年間の取り組みを検証し、復興の方策を提議するシンポジウム（三宅復興検証委員会、都立三宅島復興センター）が15日、同校体育館であった。三宅島の生徒は、噴火で大変な犠牲者を出した島民の個性化などを提案した。懇話に積極的に参加する者も多かった。

（日橋紀夫）

「復興に向けたシンポジウムをしよう」とする生徒の半年からの活動の成果として、17日に各校で講演・研究を進めた。多量の意見・提案が提出された。

（深澤 ひとみ）



溶岩使い特産品
シャツや焼き物

「溶岩を使ったボロシャツ」を持つ三宅高2年の山田悠希さん。手前は特産品を展示する作品展。同校で。

支援や情報伝達を論議

ネットワークづくりなど課題

シンポジウムの準備、三宅島復興検証委員会の活動、三宅島の復興、三宅島の個性化などを論議した。三宅島の復興、三宅島の個性化などを論議した。三宅島の復興、三宅島の個性化などを論議した。

三宅島の復興、三宅島の個性化などを論議した。三宅島の復興、三宅島の個性化などを論議した。三宅島の復興、三宅島の個性化などを論議した。

2007年11月の緑化プロジェクト



三宅島の火山学習第2弾



小中高合同作品展に出品



2月2・3日の2日間、島内の三宅村コミュニティセンターで小中高合同作品展が行われました。

この作品展に1学年地学の取り組みとして、2000年噴火の活動を立体模型で説明しました。

三宅高等学校の今後の取り組み

- 今回の防災チャレンジプランをきっかけに来年から校外での火山学習や海洋実習ができるようになった。
- 引き続き緑化プロジェクトは継続し、三宅島の緑の回復に向け努力したい。
- 高齢者からの噴火体験談を聞き、将来の噴火に対する心構えを作って行きたい。

お礼

今回の防災教育チャレンジプランの取り組みについては、いろいろな関係者の方々にお世話になりました。

防災教育チャレンジプラン事務局の方々をはじめ、実行委員の先生方一年間ありがとうございました。

- 三宅島測候所の皆様
- 三宅村役場の皆様
- 日本災害情報学会の皆様
- 都立園芸高校の皆様
- 地域安全学会の皆様
- 三宅島自然ふれあいセンター「アカコッコ館」の皆様
- 三宅村森林組合の皆様
- 三宅村漁業組合の皆様

その他、今回の活動に協力していただいた皆様にこの場を借りて感謝いたします。本当にありがとうございました。